

大学番号：023

注3

9月14日差し替え版

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

宮城学院女子大学 教育学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人宮城学院

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育研究支援グループ

職名・氏名 ^{ワタナベ} 渡邊 ^{ヒデトシ} 秀俊

電話番号 022-279-4698

(夜間) 022-279-4698

F A X 022-279-7566

e-mail syomu@mgu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

<教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人宮城学院

(2) 大学名

宮城学院女子大学

(3) 大学の位置

〒981-8557

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コバヤシ ノブオ) 小林 信夫 (平成25年1月)	(ミヤギ ミツノブ) 宮城 光信 (平成28年11月)	平成28年11月27日付任期満了のため(29)
学長	(ヒラカワ アラタ) 平川 新 (平成26年4月)		
学部長	(トヨサワ ヒロノブ) 豊澤 弘伸 (平成28年4月)		
学科長等	(クマサカ サトシ) 熊坂 聡 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部		年	人	年次人	人	
教育学科	教育学・保育関係	4	170	-	680	
幼児教育専攻		4	90	-	360	
児童教育専攻		4	50	-	200	
健康教育専攻		4	30	-	120	
学士(教育学)						

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

教育学科

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	170人 () []	-人 () []	170人 () []	-人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.07倍	
志願者数	577 () []	- () []	483 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	561 () []	- () []	467 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	361 () []	- () []	346 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	177 () []	- () []	189 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.11							

教育学科 幼児教育専攻

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90人 () []	-人 () []	90人 () []	-人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.99倍	
志願者数	274 () []	- () []	211 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	263 () []	- () []	203 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	160 () []	- () []	160 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	85 () []	- () []	94 () []	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.94		1.04							

教育学科 児童教育専攻

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50人 (-) [-]	-人 (-) [-]	50人 (-) [-]	-人 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.15倍	
志願者数	197 (-) [-]	- (-) [-]	195 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	195 (-) [-]	- (-) [-]	190 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	135 (-) [-]	- (-) [-]	130 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	54 (-) [-]	- (-) [-]	61 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.08		1.22							

教育学科 健康教育専攻

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30人 (-) [-]	-人 (-) [-]	30人 (-) [-]	-人 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.20倍	
志願者数	106 (-) [-]	- (-) [-]	77 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	103 (-) [-]	- (-) [-]	74 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	66 (-) [-]	- (-) [-]	56 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	38 (-) [-]	- (-) [-]	34 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.27		1.13							

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

教育学科

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	177 [-] (-)	- [-] (-)	189 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		176 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次			/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()
4年次	/						/		/
計			177 [-] (-)	365 [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()			

教育学科 幼児教育専攻

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	85 [-] (-)	- [-] (-)	94 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
2年次	/		85 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	
3年次			/		/		[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()
4年次	/						/		/
計			85 [-] (-)	179 [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()			

教育学科 児童教育専攻

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	54 [-] (-)	- [-] (-)	61 [-] (-)	- [-] (-)					
2年次	/		53 [-] (-)	- [-] (-)					
3年次			/						
4年次	/								
計			54 [-] (-)		114 [-] (-)				

教育学科 健康教育専攻

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	38 [-] (-)	- [-] (-)	34 [-] (-)	- [-] (-)					
2年次	/		38 [-] (-)	- [-] (-)					
3年次			/						
4年次	/								
計			38 [-] (-)		72 [-] (-)				

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況
教育学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	177 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	0.56 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	189 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	人	人		- %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	人	人		- %
合 計	366 人	1 人					0.27 %

教育学科 幼児教育専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	85 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	94 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	人	人		- %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	人	人		- %
合 計	179 人	0 人					0.00 %

教育学科 児童教育専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	54 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	1.85 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	61 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	人	人		- %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	人	人		- %
合 計	115 人	1 人					0.86 %

教育学科 健康教育専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	38 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	34 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	人	人		- %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	人	人		- %
合 計	72 人	0 人					0.00 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
一般 教育 科目	人文社会系科目	キリスト教学 基礎演習	1前 1前	2 2								兼1 兼25 兼12 兼13 兼1	担当者変更のため(29)	
		日本語演習 女性と人権 音楽の世界 教養講義A	1前 1前 1前 1後	2 2 2 2			1					兼8 兼5 兼6 兼18		
		教養講義B 特殊研究 キャリア形成論 日本国憲法	2前 3・4前・後 4後 3前	2 2 2 2		2	1					兼1 兼1		
		自然科学系科目	自然科学入門 自然科学特論 科学技術論	1前 2前 3前	2 2 2			1 1 1	1					兼6 兼1
		情報系科目	情報処理	1後	2			1						兼2
		総合科目	総合コースA 総合コースB 総合コースC 総合コースD 総合コースE	2後 2後 2後 2後 2後		4 4 4 4 4		1						兼4 兼3 兼4 兼4 兼4
	外国語科目	英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼7 兼6 兼7	担当者追加のため(29)	
		英語コミュニケーションⅡ	1後	1								兼6 兼7	担当者追加のため(29)	
		英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	2前 2後	1 1								兼6 兼7	担当者追加のため(29)	
		スキルアップ英語	2・3・4前・後		1							兼6		
		ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ	1前 1後		1 1							兼1 兼1		
		ドイツ語リテラシーⅠ ドイツ語リテラシーⅡ	1前 1後		1 1							兼1 兼1		
		フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ	1前 1後		1 1							兼1 兼1		
		フランス語リテラシーⅠ フランス語リテラシーⅡ	1前 1後		1 1							兼1 兼1		
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	1前 1後		1 1							兼4 兼4		
		中国語リテラシーⅠ 中国語リテラシーⅡ	1前 1後		1 1							兼2 兼2		
		スキルアップドイツ語 スキルアップフランス語 スキルアップ中国語	2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後		1 1 1							兼2 兼3 兼3	担当者変更のため(29)	
		体育科目	体育講義 体育実技 シーズンスポーツ スポーツ	1前 1前 1・2・3・4前・後 2・3・4後	1 1 1 1		1	1		1	1			
		専門 教育 科目	基礎科目	教育と共生社会	1前	2			3					オムニバス
				教育と伝統文化 教育と「学び」	1前 1後	1 1			1 3				兼1	オムニバス オムニバス 担当者変更のため(29)
教育と現代社会 キリスト教教育論	1後 1後			1 2			2 3				兼1 兼1	オムニバス		
基幹科目	キャリアデザイン 特別支援教育概論 心理学概論 社会福祉概論Ⅰ		1・2・3・4前・後 1前 1前 1前	1	2 2 2		1 1 1					兼1	担当者変更のため(29)	
	子どもの保健Ⅰ		1前		2							兼2 兼4	教育課程充実のためのクラス増に伴う担当者追加(28)	
	学校臨床研究Ⅰ		2・3・4前		1		6 4 8		4				担当者変更のため(29)	
	学校臨床研究Ⅱ		2・3・4後		1		4			1			担当者変更のため(29)	

専門 教育科目	幼児 教育科目	体育	1後		2		1						教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)		
		教育史	1後		2			1					兼 1	教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)	
		保育内容総論	1後		1		1								
		保育内容 (健康)	2前		2								兼 1		
		保育内容 (人間関係)	2前		2						1				
		保育内容 (環境)	2前		2			1							
		保育内容 (言葉)	2前		2								兼 1		
		保育内容 (音楽表現)	1後		2			1	+						職位の変更のため (29)
		保育内容 (造形表現)	1後		2			1	+						職位の変更のため (29)
		保育内容指導法 I	2前		2			1		1			兼 1	職位の変更のため (29)	
		保育内容指導法 II	2後		2			1				1	兼 1		
		保育実践研究	4前		2			1				1			
		障害児保育	4前		2			1							
		幼児理解の理論と方法	3前		2			1							教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)
		基礎ピアノ	1前		1			1	+				兼 3	教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)	
		合唱 I	1後		1			1							教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)
		合唱 II A	1・2・3・4前		1			1							教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)
		合唱 II B	1・2・3・4後		1			1							教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)
	音楽実践基礎セミナー I	1・2前		2			1							教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)	
	音楽実践基礎セミナー II	1・2後		2			1							教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)	
	アウトリーチ実習	3前		1			2							教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)	
	教育相談 (幼)	3前		2			1					兼 1	教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)		
	教職実践演習 (幼)	4後		2			5	2			1			教職課程認定審査時の指導により科目追加 (28)	
	保育 科目	保育原理	1前 後		2						1				
		児童と家庭の福祉	1前		2		1							開講期変更のため (29)	
		社会的養護	2前		2							兼 1			
		保育の心理学	3前		2		2								
		子どもの保健 II	1後		2							兼 2	教育課程充実のためのクラス増に伴う担当者追加 (28)		
		子どもの保健 III	1後		2							兼 4			
		子どもの食と栄養	1後		2		2					兼 1	オムニバス オムニバスから単独開講担当者変更 (28)		
		家庭支援論	4前		2		1								
		乳児保育	2後		2						1		兼 1	担当者追加のため (29)	
		社会的養護内容 保育相談支援	2後 4前		2 1		1						兼 2 兼 4	担当者追加のため (29)	
	特別 支援 科目	知的障害者の心理・生理・病理	2前 前		2		1					兼 1	オムニバス		
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2後		2							兼 1	開講期変更のため (29)		
		病弱者の心理・生理・病理	2後		2							兼 1			
知的障害教育総論		2後		2		1									
知的障害者指導法		3後		2		1									
肢体不自由教育総論		3後		2							兼 1				
肢体不自由者指導法		3後		2							兼 1				
病弱者教育総論		3後		2							兼 1				
病弱者指導法		3後		2							兼 1	集中			
視覚障害教育総論		2後		1							兼 1				
聴覚障害教育総論		2後		1							兼 1				
情緒障害教育総論		4前		2		1									
A D H D 教育論		3前		2		1									
L D 教育論		3前		2		1									

保健・ 養護 科目	精神保健	2前	2					兼1		
	衛生学	1後	2					兼1		
	公衆衛生学	2後	2					兼1		
	学校保健	2前	2		1					
	スポーツ実技A	1・2・3・4前	1				1			
	スポーツ実技B	1・2・3・4前	1				1			
	スポーツ実技C	1・2・3・4後	1				1			
	スポーツ実技D	1・2・3・4後	1				1			
	体育原理	1前	2						兼1	
	体育心理学	2前	2		1					
	体育経営管理学	3前	2						兼1	
	体育社会学	3後	2						兼1	
	運動学	2前	2						兼1	
		未開講								
		コーチング論	2→3後	2				1		隔年開講のため(29)
		トレーニング論	2・3後	2				1		
		体力測定法	2・3前	2				1		
		生理学	2前	2		+				兼1 担当者変更のため(29)
		救急看護法	3後	2		1				
		健康相談	2後	2		1				
		養護概説	3後	2		1				
		保健教育法	3後	2		1				
		栄養学(食品学を含む)	2後	2		1				
		解剖生理学	1前	2						兼1
		免疫学	3前	2						兼1
		基礎医学(こどもの健康課題)Ⅰ	3前	2						兼4 オムニバス
		基礎医学(こどもの健康課題)Ⅱ	3後	2						兼3 オムニバス
		学校看護学	2前	2		1				
	専門 教育 科目	心理学研究法	3前	2						兼1
		心理統計法	2前	2						兼1
		学習心理学	3後	2						兼1
		認知心理学	4前	2						兼1
		臨床心理学	2前	2		+				兼1 担当者変更のため(29)
乳幼児心理学		2後	2		1					
児童青年心理学		2前	2		1					
生理心理学		2前	2						兼1	
家族心理学		3前	2		1					
カウンセリング法概説		3前	2		1					
福祉 科目		医学概論	3後	2						兼1
	社会学	1前	2						兼1	
	社会福祉概論Ⅱ	4前	2		1					
	社会調査	3後	2						兼1	
	ソーシャルワークの基礎Ⅰ	2前	2		1					
	ソーシャルワークの基礎Ⅱ	2後	2		1					
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2前	2				1		兼4 担当者変更のため(29)	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2後	2				1		兼4 担当者変更のため(29)	
	ソーシャルワーク論Ⅲ	3前	2		1					
	ソーシャルワーク論Ⅳ	3後	2		1					
	地域福祉論Ⅰ	3前	2		1					
	地域福祉論Ⅱ	3後	2		1					
	福祉行財政と福祉計画	4前	2		1					
	社会福祉運営管理論	3後	2		1					
	社会保障論Ⅰ	2前	2						兼1	
	社会保障論Ⅱ	2後	2						兼1	
	高齢者福祉論	3前	2						兼1	
	介護福祉概論	3後	2						兼1	
	障害児・者の福祉	2前	2		1					
	公的扶助論	3後	2						兼1	
	保健医療	3後	2						兼1	
	就労支援と更生保護	3後	2						兼1	
	権利擁護と成年後見	3後	2						兼1	
						1				
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後	2		2		1		担当者変更のため(29)	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前	2		1					
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後	2		1					
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前	2		1					
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後	2		1					
	社会福祉基礎実習	2前	1		2		1		担当者変更のため(29)	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3前	1		2				兼1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4前	1		2				兼1	
	ソーシャルワーク実習	4前	6		2				兼1	

専門教育科目	実習科目	保育実習指導Ⅰ	2後		2	2	2	1			兼 1	職位の変更のため(29) 担当者変更のため(29) 職位の変更のため(29) 担当者変更のため(29)	
		保育実習Ⅰ	2後		2	2	2	1					
		保育実習指導Ⅱ	3前		1			2					
		保育実習Ⅱ	3前		2			2					
		保育実習指導Ⅲ	3前		1			1					
		保育実習Ⅲ	3前		2			1					
		特別支援教育実習(事前事後指導を含む)	4前		3		3						
		幼児教育実習指導Ⅰ	2前		1		1			1		兼 2	担当者追加のため(29)
		幼児教育実習Ⅰ	2前		1		1			1		兼 1	担当者追加のため(29)
		幼児教育実習指導Ⅱ	3前		1		1			1			
		幼児教育実習Ⅱ	3前		3		1			1			
		初等教育実習指導	3前		1		2	2					
		初等教育実習	3後		4		2	2					
		心理学基礎実験Ⅰ	3前		2		2					兼 1	
		心理学基礎実験Ⅱ	3後		2		2					兼 1	
		臨床看護実習	3後		4		1						
		看護学実習Ⅰ	3前		2		1						
		看護学実習Ⅱ	3後		2		1						
		看護学実習Ⅲ(救急処置)	3前		2		1						
	ゼミナール	専門基礎演習	1前	2			5			2		兼 1	職位の変更のため(29) 担当者の変更のため(29)
専門演習Ⅰ		3前	2			13	4		2				
専門演習Ⅱ		3後	2			13	4		2				
卒業研究	卒業研究演習Ⅰ	4前	2			16	4		2				
	卒業研究演習Ⅱ	4後	2			16	4		2				
	卒業研究	4通	4			16	4		2				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	180	20	227	27	204	20	251	
				[]	[24]	[]	[24]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	コーチング論	2	2・3	専門	選択	隔年開講の科目のため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「コーチング論」は2・3年次に担当している科目であり, 来年度開講する予定であるため, 支障はない。学生へはガイダンスを通じて周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{227} = \boxed{0.44}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	宮城学院高等学校・宮城学院中学校（必要面積14,400㎡）と共用（収容定員：高等学校780名、中学校480名）			
	校舎敷地	99,918㎡	0㎡	35,862㎡	135,780㎡				
	運動場用地	0㎡	16,028㎡	0㎡	16,028㎡				
	小 計	99,918㎡	16,028㎡	35,862㎡	151,808㎡				
	そ の 他	42,941㎡	0㎡	0㎡	42,941㎡				
合 計	142,859㎡	16,028㎡	35,862㎡	194,749㎡					
(2) 校舎	専 用	34,281㎡	0㎡	0㎡	34,281㎡	大学全体			
	(34,281㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(34,281㎡)					
(3) 教室等	講義室	44室	15室	96室	7室	大学全体			
				(補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	教育学部			27 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	蔵書の増刷による冊数及び種類の増(28) ビデオやレコード媒体の資料を整理したことによる点数の減(28) 蔵書の増刷による冊数及び種類の増(29) 洋雑誌の価格高騰により購入予定数が減り、付随する電子ジャーナルの数が減少(29)	
		冊	種						
	教育学部	406,482 [106,077] 406,482 [100,656] 404,891 [100,387]	11,558 [922] 11,349 [915] 10,443 [898]	56 [7] 60 [7] 65 [0]	7,486 7,322 9,070	226	37		
	計	406,482 [106,077] 406,482 [100,656] 399,899 [104,804]	11,558 [922] 11,349 [915] 10,443 [898]	56 [7] 60 [7] 62 [0]	7,486 7,322 9,070	226	37		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数		書棚増設に伴う座席数の減及び収納可能冊数の増(28) 棚数増に伴う収納可能冊数の増(29)		
	3,216㎡		269席 313席		346,778冊 346,056冊 333,583冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	1,737㎡		卓球場、温水プール、テニスコート、弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は、電子ジャーナル、印刷製本等の経費を含む 事業計画に基づく修正(28)
		教員1人当たり研究費等	527千円 703千円	527千円 703千円	図書購入費	-	2,368千円 2,325千円	9,472千円 9,300千円	
	共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	-	1,202千円 1,750千円	4,808千円 7,000千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次 1,250千円 1,264千円	第2年次 1,010千円 984千円	第3年次 1,010千円 984千円	第4年次 1,010千円 984千円	第5年次 -	第6年次 -	学生納付金改定(28)	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、私立大学経常費補助金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宮城学院女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
教育学科	4	170	-	680	学士 (教育学)	1.07	平成28年度	宮城県仙台市青葉区 桜ヶ丘9-1-1	
幼児教育専攻	4	90	-	360	学士 (教育学)	0.99	平成28年度	同上	
児童教育専攻	4	50	-	200	学士 (教育学)	1.15	平成28年度	同上	
健康教育専攻	4	30	-	120	学士 (教育学)	1.20	平成28年度	同上	
現代ビジネス学部									
現代ビジネス学科	4	95	-	380	学士 (ビジネス学)	1.04	平成28年	同上	
生活科学部									
食品栄養学科	4	100	-	400	学士 (食品栄養学)	1.03	平成28年度	同上	
生活文化デザイン学科	4	60	-	240	学士 (生活文化デザイン学)	0.96	平成28年度	同上	
学芸学部									
日本文学科	4	100	-	400	学士 (日本文学)	0.99	昭和39年度	同上	
英文学科	4	70	-	280	学士 (英文学)	0.98	昭和24年度	同上	
人間文化学科	4	70	-	280	学士 (人間文化学)	0.75	平成7年度	同上	
心理行動科学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.10	平成19年度	同上	
音楽科	4	25	-	100	学士 (音楽)	0.76	昭和24年度	同上	
国際文化学科	4	-	-	-	学士 (国際文化学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
食品栄養学科	4	-	-	-	学士 (食品栄養学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
生活文化デザイン学科	4	-	-	-	学士 (生活文化デザイン学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
発達臨床学科	4	-	-	-	学士 (発達臨床学)	-	平成12年度	同上	平成28年度学生募集停止
児童教育学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成19年度	同上	平成28年度学生募集停止
人文科学研究科									
英語・英米文学専攻	2	4	-	8	修士 (英文学)	0.00	平成7年度	同上	
日本語・日本文学専攻	2	4	-	8	修士 (日本文学)	0.37	平成7年度	同上	
人間文化学専攻	2	4	-	8	修士 (人間文化学)	0.62	平成11年度	同上	
生活文化デザイン学専攻	2	4	-	8	修士 (生活文化デザイン学)	0.12	平成17年度	同上	
健康栄養学研究科									
健康栄養学専攻	2	4	-	8	修士 (健康栄養学)	1.25	平成20年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	豊澤 弘伸 (54)	平成28年4月	国語 学校授業論A 授業実践研究 国語科教育法 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究					学校臨床研究Ⅰ 学校臨床研究Ⅱ	担当者変更のため(29)
専	教授	熊坂 聡 (61)	平成28年4月	教育と共生社会 社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ ソーシャルワークの基礎Ⅰ ソーシャルワークの基礎Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ 社会福祉基礎実習 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究					学校臨床研究Ⅰ 学校臨床研究Ⅱ	担当者変更のため(29)
専	教授	竹久 文之 (70)	平成28年4月	子どもの食と栄養 栄養学(食品学を含む)	兼任 兼任	准教授 講師	後藤 知子 (43)	平成28年4月	子どもの食と栄養	准教授に就任のため(29) 担当者変更のため オムニバスから単独開講 (28)
専	教授	渡辺 徹 (68)	平成28年4月	教育と共生社会 特別支援教育概論 教職実践演習(幼・小) 知的障害者指導法 特別支援教育実習(事前事後指導を含む) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究					教職実践演習(幼)	担当科目追加のため(28)

専	教授	相原 芳一 (67)	平成28年4月	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 福祉行政と福祉計画 社会福祉運営管理論 ソーシャルワーク演習Ⅰ 社会福祉基礎実習 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究	専	助教	松原 弘子 (51)	平成29年4月	地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 福祉行政と福祉計画 社会福祉運営管理論 ソーシャルワーク演習Ⅰ 社会福祉基礎実習 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究	平成29年3月退職のため担当者変更 (29)
専	教授	佐藤 史浩 (64)	平成28年4月	教育原理 (幼・小)					教育原理 (幼)	担当科目追加のため (28)
				教育制度論 (幼・小)	兼任	講師	清水 禎文 (53)	平成28年4月	教育制度論 (幼・小)	担当者変更のため (28)
				教育制度論 (幼)					教育制度論 (幼)	担当科目追加のため (28)
専	教授	生野 桂子 (63)	平成28年4月	教育課程論 (幼・小) 生活 家庭 生活科教育法 家庭科教育法 教職実践演習 (幼・小)	兼任	准教授				
				子どもの食と栄養	兼任	講師	後藤 知子 (43)	平成28年4月	子どもの食と栄養	准教授に就任のため (29) 担当者変更のため オムニバスから単独開講 (28)
				初等教育実習指導 初等教育実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
									教育課程論 (幼) 教職実践演習 (幼)	担当科目追加のため (28)
専	教授	松浦 光和 (63)	平成28年4月	教育と現代社会 <small>※教員等の理解と方法、受講指導を要す。</small> 教育相談 (幼・小)	兼任	講師	小松 陽子 (40)	平成29年4月	教育と現代社会	担当者変更のため (29)
				臨床心理学	兼任	講師	佐藤 葉子 (46)	平成29年4月	臨床心理学	担当者変更のため (29)
				児童青年心理学	専	教授	白石 雅一 (52)	平成29年4月	児童青年心理学	担当者変更のため (29)
				カウンセリング法概説 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
									教育相談 (幼)	担当科目追加のため (28)
専	教授	竹田 幸正 (63)	平成28年4月	教育と「学び」 学校臨床研究Ⅰ 学校臨床研究Ⅱ 教職概論 (幼・小) 授業実践研究 教職実践演習 (幼・小) 初等教育実習指導 初等教育実習 専門基礎演習						
									教職概論 (幼) 教職実践演習 (幼)	担当科目追加のため (28)

専	教授	石井 幹子 (62)	平成28年4月	生理学	兼任	教授	齋藤 淑子 (68)	平成29年4月	生理学	担当者変更のため (29)
				救急看護法 学校看護学 臨床看護実習 看護学実習Ⅰ 看護学実習Ⅱ 看護学実習Ⅲ (救急処置) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	菅原 正功 (62)	平成28年4月	教育と現代社会 学校臨床研究Ⅰ 学校臨床研究Ⅱ 体育 体育科教育法	兼任	講師	山西 哲也 (47)	平成28年4月	特別活動の理論と方法 (小)	担当者変更のため (28)
				特別活動の理論と方法 (小)						
専	教授	齋藤 公子 (61)	平成28年4月	教育と「学び」						
専	教授	中込 雄治 (59)	平成28年4月	学校臨床研究Ⅰ 学校臨床研究Ⅱ 教育方法論 (幼・小) 算数 学校授業論B 授業実践研究 算数科教育法 教職実践演習 (幼・小) 専門基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						担当者変更のため (28)
				教育方法論 (幼) 教職実践演習 (幼)						
専	教授	足立 智昭 (57)	平成28年4月	発達心理学 保育の心理学 家庭支援論 保育相談支援 知的障害者の心理・生理・病理 乳幼児心理学 家族心理学 心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究						担当者変更のため (28)
				教育相談 (幼) 幼児理解の理論と方法						
				学校臨床研究Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ						

専	教授	戸野塚 厚子 (56)	平成28年 4 月	教育と共生社会 学校臨床研究 I 学校臨床研究 II 学校保健 健康相談 養護概説 保健教育法 専門基礎演習 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究演習 I 卒業研究演習 II 卒業研究						
専	教授	大内 典 (56)	平成28年 4 月	教育と伝統文化 教育と現代社会 音楽 アウトリーチ実習 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究演習 I 卒業研究演習 II 卒業研究						
専	教授	梅田 真理 (56)	平成28年 4 月	情緒障害教育総論 ADHD教育論 LD教育論 <small>特別支援教育実習（事前事後指導を含む）</small> 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究演習 I 卒業研究演習 II 卒業研究						
専	教授	磯部（西城） 裕子 (55)	平成28年 4 月	教育と「学び」 教育課程論（幼・小） 教育方法論（幼・小） 教職実践演習（幼・小） 保育内容総論 保育内容（環境） 保育内容指導法 II 保育実践研究 幼児教育実習指導 I 幼児教育実習 I 幼児教育実習指導 II 幼児教育実習 II 専門基礎演習 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究演習 I 卒業研究演習 II 卒業研究						
									教育課程論（幼） 教育方法論（幼） 教職実践演習（幼）	担当科目追加のため（28）
									学校臨床研究 I 学校臨床研究 II	担当科目追加のため（29）
専	教授	工藤 敏巳 (55)	平成28年 4 月	体育講義 シーズンスポーツ 体育心理学						
専	教授	田中 一裕 (52)	平成28年 4 月	特殊研究 自然科学入門 自然科学特論 情報処理 総合コース B 生活						

専	教授	白石 雅一 (51)	平成28年 4 月	障害児保育 児童と家庭の福祉 知的障害教育総論 障害児・者の福祉 ソーシャルワーク演習Ⅰ <small>特別支援教育実習（事前事後指導を含む）</small> 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究									
												社会福祉基礎実習	担当科目追加のため(29)
専	教授	なかにし (辻) あか ね (51)	平成28年 4 月	音楽の世界 音楽 合唱Ⅰ 合唱Ⅱ A 合唱Ⅱ B 音楽実践基礎セミナーⅠ 音楽実践基礎セミナーⅡ アウトリーチ実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究									
専	教授	西浦 和樹 (45)	平成28年 4 月	心理学概論 教育心理学（幼・小） 保育の心理学 心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究								教育心理学（幼）	担当科目追加のため(28)
専	准教授	松本 晴子 (59)	平成28年 4 月	音楽 音楽科教育法 基礎ピアノ 保育内容（音楽表現） 保育内容指導法Ⅰ 初等教育実習指導 初等教育実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究		教授							平成29年4月教授に昇任のため (29)
専	准教授	村野 敬一郎 (58)	平成28年 4 月	教育史 <small>道徳教育の理論と方法（小）</small> 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究									

専	准教授	石川 隆 (57)	平成28年 4 月	図画工作	教授					平成28年4月1日付昇任による職名変更 (28)
				教職実践演習 (幼・小) 保育内容 (造形表現) 保育実習指導 I 保育実習 I 保育実習指導 II 保育実習 II 保育実習指導 III 保育実習 III 専門基礎演習 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究演習 I 卒業研究演習 II 卒業研究						
									教職実践演習 (幼)	担当科目追加のため (28)
専	准教授	板橋 夏樹 (41)	平成28年 4 月	自然科学特論 理科	教授					
				学校授業論B 授業実践研究 理科教育法 教職実践演習 (幼・小) 保育内容指導法 I 初等教育実習指導 初等教育実習 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究演習 I 卒業研究演習 II 卒業研究						
									教職実践演習 (幼)	担当科目追加のため (28)
									保育内容 (環境)	担当科目追加のため (29)
専	助教	篠原 秀典 (32)	平成28年 4 月	体育実技 シーズンスポーツ スポーツ	教授					
				学校臨床研究 I 学校臨床研究 II スポーツ実技 A スポーツ実技 B スポーツ実技 C スポーツ実技 D コーチング論 トレーニング論 体力測定法 専門基礎演習 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究演習 I 卒業研究演習 II 卒業研究						
									学校臨床研究 I	担当科目削除のため (29)

専	助教	境 愛一郎 (28)	平成28年4月	教職実践演習(幼・小) 保育内容(人間関係) 保育内容指導法Ⅱ 保育実践研究 保育原理 乳児保育 幼児教育実習指導Ⅰ 幼児教育実習Ⅰ 幼児教育実習指導Ⅱ 幼児教育実習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究							
									専門基礎演習 教職実践演習(幼)	担当科目追加のため(28)	
兼担	教授	鈴木 雅之 (69)	平成28年4月	教養講義B							
兼担	教授	井上 研一郎 (68)	平成28年4月	教育と伝統文化							
兼担	教授	齋藤 淑子 (67)	平成28年4月	基礎演習 解剖生理学 医学概論							
兼担	教授	安部 新一 (66)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	教授	高田 紀代志 (65)	平成28年4月	特殊研究	兼担	准教授	栗原 健 (42)	平成29年4月	特殊研究		退職のため担当者変更(29)
兼担	教授	菊池 勇夫 (65)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究 総合コースA							
兼担	教授	森 雅彦 (64)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究							
兼担	教授	平本 福子 (64)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	教授	伊狩 弘 (64)	平成28年4月	教養講義B							
兼担	教授	熊谷 優克 (64)	平成28年4月	特殊研究							
兼担	教授	田中 史郎 (64)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A							
兼担	教授	高橋 英博 (63)	平成28年4月	特殊研究 社会学							
兼担	教授	J.F.モリス (63)	平成28年4月	教養講義A							
兼担	教授	Brenda Hayashi (63)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	藤崎 さなえ (52)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため(28)	
					兼担	教授	Brenda Hayashi (64)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため(29)	

兼担	教授	新免 貢 (62)	平成28年4月	特殊研究 総合コースE							
兼担	教授	山岸 喜久治 (62)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A 特殊研究 日本国憲法							
兼担	教授	矢内 信昭 (61)	平成28年4月	免疫学							
兼担	教授	佐々木 隆之 (61)	平成28年4月	教養講義B							
兼担	教授	Marc Helegesen (61)	平成28年4月	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII							
兼担	教授	星 祐二 (60)	平成28年4月	自然科学特論							
兼担	教授	遊佐 典昭 (60)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	教授	大平 聡 (60)	平成28年4月	基礎演習 総合コースA							
兼担	教授	天童 睦子 (59)	平成28年4月	女性と人権 キャリア形成論 キャリアデザイン							
兼担	教授	正木 恭介 (58)	平成28年4月	教養講義B							
兼担	教授	八木 祐子 (57)	平成28年4月	基礎演習	兼担	准教授	栗原 健 (42)	平成29年4月	基礎演習	担当者変更のため (29)	
				教養講義A	兼担	教授	市野澤 潤平 (46)	平成29年4月	教養講義A	担当者変更のため (29)	
兼担	教授	姚 (夏目) 国利 (55)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	教授	志村 文隆 (54)	平成28年4月	総合コースA							
兼担	教授	今林 直樹 (53)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究							
兼担	教授	大久保 尚子 (52)	平成28年4月	教養講義B							
兼担	教授	深澤 昌夫 (52)	平成28年4月	特殊研究							
兼担	教授	近松 健 (51)	平成28年4月	特殊研究 自然科学特論 情報処理 総合コースB							
兼担	教授	吉村 典子 (50)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	教授	大橋 智樹 (45)	平成28年4月	特殊研究 心理統計法	兼任	講師	竹ヶ原 靖子 (28)	平成29年4月	心理統計法	担当者変更のため (29)	

兼担	教授	土屋 純 (45)	平成28年4月	基礎演習 教養講義A							
兼担	教授	小羽田 誠治 (40)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 スキルアップ中国語							
兼担	准教授	木村 春美 (56)	平成28年4月	特殊研究 英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ							
兼担	准教授	佐々木 ルリ 子 (55)	平成28年4月	基礎演習		教授					平成28年4月1日付昇任による職名変更(28)
兼担	准教授	増富 和浩 (54)	平成28年4月	基礎演習 総合コースD 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ							
兼担	准教授	杉井 信 (53)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究							
兼担	教授	John Wiltshier (50)	平成28年4月	外国語活動							
兼担	准教授	鎌田 由香 (50)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	准教授	丹野 久美子 (48)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	准教授	松村 光太郎 (48)	平成28年4月	特殊研究	兼任	准教授	安田 直民 (44)	平成28年4月	特殊研究		平成27年9月退職による担当 者の変更(28)
兼担	准教授	間瀬(箕輪) 幸江 (47)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究 総合コースD スキルアップフランス語							
兼担	准教授	太田 峰夫 (46)	平成28年4月	教養講義B							
兼担	准教授	櫻井 美幸 (45)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	准教授	市野澤 潤平 (45)	平成28年4月	基礎演習 特殊研究							
兼担	准教授	木口 寛久 (43)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ スキルアップ英語							
兼担	准教授	木野(遠藤) 和代 (42)	平成28年4月	基礎演習 心理学研究法		教授					平成28年4月1日付昇任による職名変更(28)
兼担	准教授	越門 勝彦 (42)	平成28年4月	教養講義A 総合コースB							
兼担	准教授	澤邊 裕子 (41)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	大木 葉子 (47)	平成29年4月	日本語演習		担当者変更のため(29)
兼担	准教授	友野 隆成 (39)	平成28年4月	基礎演習							
兼担	助教	田島 優子 (30)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ							

兼任	講師	菅原 正和 (72)	平成28年4月	心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ	兼任	講師	小松 陽子 (39)	平成28年4月	心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ	平成28年3月退職による担 当者の変更 (28)
兼任	講師	関 宗藏 (72)	平成28年4月	自然科学特論	兼任	講師	村山 卓 (46)	平成29年4月	自然科学特論	担当者変更のため (29)
兼任	講師	小幡 忠夫 (71)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	兼任	講師	小原 豊志 (53)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者変更のため (29)
兼任	講師	花井 弘美 (70)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	岩川 亮 (70)	平成28年4月	スキルアップフランス語						
兼任	講師	島倉 紀之 (69)	平成28年4月	自然科学特論						
兼任	講師	岩川 直子 (69)	平成28年4月	ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	大島 徹 (69)	平成28年4月	ドイツ語リテラシーⅠ ドイツ語リテラシーⅡ スキルアップドイツ語						
兼任	講師	猪平 真理 (68)	平成28年4月	視覚障害教育総論						
兼任	講師	高橋 ひろみ (68)	平成28年4月	子どもの保健Ⅲ						
兼任	講師	大島 衣 (67)	平成28年4月	総合コースC スキルアップドイツ語						
兼任	講師	Monika Kurokawa (67)	平成28年4月	スキルアップドイツ語						
兼任	講師	中島 信博 (67)	平成28年4月	体育社会学						
兼任	講師	小笠原 真佐 子 (66)	平成28年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ	専	助教	松原 弘子 (51)	平成29年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ	担当者変更のため (29)
兼任	講師	鹿野 良子 (66)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	菅原 耕一 (65)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	菅原 秀 (46)	平成28年4月	日本語演習	担当者変更のため (28)
兼任	講師	Anthony Smith (65)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ						担当者変更のため (28)
				スキルアップ英語	兼任	准教授	木村 春美 (57)	平成29年4月	スキルアップ英語	担当者変更のため (29)
兼任	講師	三浦 友悦 (64)	平成28年4月	特殊研究						
兼任	講師	八幡 悦子 (64)	平成28年4月	総合コースC						

兼任	講師	谷田部 武男 (64)	平成28年4月	総合コースD						
兼任	講師	板垣 信哉 (64)	平成28年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	兼任	講師	加藤 久美子 (53)	平成29年4月	英語リテラシーⅠ 英語リテラシーⅡ	担当者変更のため(29)
兼任	講師	佐藤 喜根子 (64)	平成28年4月	総合コースB						
兼任	講師	細倉 公一 (63)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	佐藤 千穂 (45)	平成28年4月	日本語演習	担当者変更のため(28)
兼任	講師	富田 昇 (63)	平成28年4月	中国語リテラシーⅠ 中国語リテラシーⅡ						
兼任	講師	関口 博久 (63)	平成28年4月	精神保健						
兼任	講師	寺澤 政彦 (62)	平成28年4月	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ						
兼任	講師	黒田 謙二 (62)	平成28年4月	図画工作科教育法						
兼任	講師	岩崎 利次 (61)	平成28年4月	高齢者福祉論 介護福祉概論 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習						
兼任	講師	平野 信一 (61)	平成28年4月	自然科学特論						
兼任	講師	齋藤 博 (61)	平成28年4月	社会 学校授業論A 社会科教育法						
兼任	講師	屈(屈原) 明昌 (60)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ スキルアップ中国語						
兼任	講師	村上 由則 (60)	平成28年4月	身体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理						
兼任	講師	佐々木 清秀 (60)	平成28年4月	病弱教育総論						
兼任	講師	相場 節也 (60)	平成28年4月	基礎英字(こどもの発達課題)Ⅱ						
兼任	講師	付 小京 (59)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	呉 繁夫 (59)	平成28年4月	基礎英字(こどもの発達課題)Ⅰ						
兼任	講師	早坂 文彦 (58)	平成28年4月	キリスト教教育論						
兼任	講師	前田 順一 (58)	平成28年4月	体育原理						

兼任	講師	虫明 元 (57)	平成28年 4月	自然科学特論						
兼任	講師	真覚 健 (57)	平成28年 4月	認知心理学						
兼任	講師	阿部 裕二 (56)	平成28年 4月	社会保障論 I 社会保障論 II 公的扶助論						
兼任	講師	佐藤 雅也 (56)	平成28年 4月	総合コース A						
兼任	講師	庭野 賀津子 (54)	平成28年 4月	保育内容 (言葉) 聴覚障害教育総論						
兼任	講師	阿部 恒之 (54)	平成28年 4月	生理心理学						
兼任	講師	藤掛 由実子 (54)	平成28年 4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	Chutatip Yumitani (63)	平成28年 4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	担当者変更のため (28)
兼任	講師	邑本 俊亮 (54)	平成28年 4月	総合コース D						
兼任	講師	野口 和人 (54)	平成28年 4月	知的障害者の心理・生理・病理						
兼任	講師	内田 幸雄 (53)	平成28年 4月	保健医療 就労支援と更生保護 権利擁護と成年後見						
兼任	講師	木下 英俊 (53)	平成28年 4月	運動学						
兼任	講師	上羽 広明 (52)	平成28年 4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II スキルアップ英語					英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	担当者変更のため (28)
兼任	講師	小原 豊志 (52)	平成28年 4月	スキルアップ英語						
兼任	講師	加藤 久美子 (52)	平成28年 4月	スキルアップ英語	兼任	講師	藤掛 由実子 (55)	平成29年 4月	スキルアップ英語	担当者変更のため (29)
兼任	講師	趙 秀敏 (52)	平成28年 4月	中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II						
兼任	講師	新井 猛浩 (51)	平成28年 4月	保健内容 (健康)						
兼任	講師	藤田 宏紀 (51)	平成28年 4月	キリスト教学						
兼任	講師	関根 多美 (51)	平成28年 4月	日本語演習						
兼任	講師	田島 裕之 (50)	平成28年 4月	学習心理学						
兼任	講師	木村 敏明 (50)	平成28年 4月	総合コース E						

兼任	講師	伊勢 恵 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	オーフラロ ティ 智美 (38)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ	担当者変更のため (28)
				英語コミュニケーションⅡ					英語コミュニケーションⅡ	
				スキルアップ英語					英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため (29)
兼任	講師	大西 克巳 (50)	平成28年4月	スキルアップ中国語						
兼任	講師	我妻 恭行 (50)	平成28年4月	基礎英字(こどもの健康課題)Ⅰ						
兼任	講師	永田 秀隆 (48)	平成28年4月	体育経営管理学						
兼任	講師	曾根 由香 (47)	平成28年4月	情報処理						
兼任	講師	翠川 博之 (47)	平成28年4月	フランス語リテラシーⅠ フランス語リテラシーⅡ						
兼任	講師	張 立波 (47)	平成28年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	西村 直子 (46)	平成28年4月	総合コースE						
兼任	講師	福本 敏 (46)	平成28年4月	基礎英字(こどもの健康課題)Ⅰ						
兼任	講師	青木 一則 (45)	平成28年4月	保育内容指導法Ⅰ 保育内容指導法Ⅱ						
兼任	講師	千葉 幸一郎 (44)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	油座 圭祐 (31)	平成28年4月	日本語演習	担当者変更のため (28)
兼任	講師	木村 美紀子 (44)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	増井 三千代 (44)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ英語					英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	担当者変更のため (28)
兼任	講師	谷山 洋三 (44)	平成28年4月	総合コースE						
兼任	講師	八島 猛 (44)	平成28年4月	病弱者指導法						
兼任	講師	綿貫 宗則 (44)	平成28年4月	基礎英字(こどもの健康課題)Ⅰ						
兼任	講師	二ツ山 亮 (43)	平成28年4月	社会的養護 社会的養護内容						
兼任	講師	初山 高仁 (42)	平成28年4月	科学技術論						
兼任	講師	野中(平手) みどり (41)	平成28年4月	フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ スキルアップフランス語						
兼任	講師	高橋 秀太郎 (41)	平成28年4月	日本語演習						

兼任	講師	黒川 修行 (41)	平成28年4月	衛生学 公衆衛生学						
兼任	講師	嵯峨井 俊 (41)	平成28年4月	基礎医学（子どもの健康課題）Ⅱ						
兼任	講師	木曾（大和田） 恵子 (39)	平成28年4月	総合コースC						
兼任	講師	鈴木 寛子 (38)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	菅原 尚樹 (36)	平成28年4月	中国語リテラシーⅠ 中国語リテラシーⅡ						
兼任	講師	寺本 淳志 (35)	平成28年4月	肢体不自由教育総論 肢体不自由者指導法						
兼任	講師	河内 聡子 (34)	平成28年4月	日本語演習						
兼任	講師	渡部 容子 (34)	平成28年4月	総合コースC	兼任	講師	高橋 芳代子 (38)	平成29年4月	総合コースC	担当者変更のため（29）
兼任	講師	岸本 洋輔 (33)	平成28年4月	日本語演習	兼任	講師	渡邊 美希 (29)	平成29年4月	日本語演習	担当者変更のため（29）
兼任	講師	伊藤 梓 (33)	平成28年4月	基礎医学（子どもの健康課題）Ⅱ						
兼任	講師	河合 晃一 (31)	平成28年4月	社会調査						
兼任	講師	坂喜 美佳 (30)	平成28年4月	日本語演習			後任未定			平成29年3月担当者辞退のため（29） 「日本語演習」は他に8クラス開講しているため、支障はない
					兼任	講師	佐々木 和子 (67)	平成28年4月	子どもの保健Ⅰ	担当者追加のため（28）
					兼任	講師	高塚 美奈子 (48)	平成29年4月	基礎ピアノ	担当者追加のため（29）
					兼任	講師	中村 由比子 (59)	平成29年4月	基礎ピアノ	担当者追加のため（29）
					兼任	講師	内山 恵子 (62)	平成29年4月	基礎ピアノ	担当者追加のため（29）
					兼任	講師	八巻 昭仁 (58)	平成29年4月	社会的養護内容	担当者追加のため（29）
					兼任	講師	笠間 賢二 (64)	平成29年4月	教育史	担当者追加のため（29）
					兼任	講師	高橋 梓 (35)	平成29年4月	幼児教育実習指導Ⅰ 幼児教育実習Ⅰ	担当者追加のため（29）

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
11 名	6 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
23	4	0	2	29	25	3	0	2	30	24	2	0	3	29
(24)	(3)	(0)	(2)	(29)						[1]	[Δ2]	[0]	[1]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
67 歳	2 名	3 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計（A）					後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	相原 芳市	選択	地域福祉論Ⅰ	①	契約期間満了のため退職（29）	
			選択	地域福祉論Ⅱ	①		
			選択	福祉行財政と福祉計画	①		
			選択	社会福祉運営管理論	①		
			選択	ソーシャルワーク演習Ⅰ	①		
			選択	社会福祉基礎実習	①		
			選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	①		
			選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	①		
			選択	ソーシャルワーク実習	①		
			選択	卒業研究演習Ⅰ	①		
			選択	卒業研究演習Ⅱ	①		
選択	卒業研究	①					
合計（C）					後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3)－①・(3)－②の合計

合計(A)+(C)			後任補充状況の集計(B)+(D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1人	必修	0科目	必修	0科目	必修	0科目	必修	0科目
	選択	12科目	選択	12科目	選択	0科目	選択	0科目
	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目
	計	12科目	計	12科目	計	0科目	計	0科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員の後任として同分野の専任教員が着任し、科目を担当することとなっているので、学生の履修に関しては問題ないとする。学生へは、シラバスによって当該科目の担当教員を確認できるようになっている。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年 5月)	学芸学部人間文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	学生確保に努めるとともに入学定員を見直し20名減の70名とした結果、2016年度は入学生65名（入学定員超過率0.93倍）を確保するに至った。
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	同一設置者が設置する既設学部等（学芸学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	学生確保に努めるとともに入学定員を見直し20名減の70名とした。 2017年度は入学生61名（入学定員超過率0.87倍）を確保し、標準修業年限に相当する期間における平均入学定員超過率は0.75倍となった。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 学則 教育課程表 (教育学部)	① 課程認定時の指導により教育課程表を専攻別に改めた (28) ※履修計画等に変更はない。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの (未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2016年4月より、大学組織改編に伴い「宮城学院Faculty Development推進委員会」を宮城学院女子大学教務センターの小委員会である「FD推進委員会」として設置。委員会規程は別添。 <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年度は3回開催 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の教育に係る状況の把握 ・ 授業評価アンケート実施方法について ・ 効果的なFD企画の検討 ・ FD企画の実施 ・ その他、本学のFDの推進に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による個別授業評価アンケートの実施 ・ 学生による大学満足度アンケートの実施 ・ 学生への学修実態調査の実施 ・ 学内研修会の開催 ・ FD通信の発行 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポータルサイトを通して、学生による各種アンケートを実施。 ・ FDに関する研修会を企画し実施。 ・ FD通信は委員会・研修会・各種アンケート結果の内容を盛り込み、適時発行
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 学生による個別授業評価アンケートは前期・後期の最終授業までに各教員が実施
- ・ 前後期学期末に、学生へ学修実調査を実施
- ・ 学生による大学満足度アンケートは卒業判定後に、卒業生を対象に実施
- ・ 学内における研修会

2016年6月7日「宮城学院女子大学の授業評価制度の現状と課題」 学長戦略室と共催

2016年7月6日「2015年度個別授業評価 教員所属学科別平均データの分析」・「COC+」に係るFD研修会 学長戦略室と共催

2016年8月3日「『教育の質保障』実践セミナー報告」学長戦略室と共催

2016年9月21日「発達障害のある学生について」 学生相談・特別支援センター運営会議と共催

2016年10月19日「インターネットの危険と対策 ソーシャルネットワーク(SNS)に潜むトラブルを未然に防ぐために」
ハラスメント防止委員会と共催

2016年11月16日「他大学の教育改革事例に学ぶ:共愛学園前橋国際大学」 学長戦略室と共催

2016年12月14日「聴覚障害や視覚障害等の特別支援について」・「精神障害の特別支援について」
学生相談・特別支援センター運営会議と共催

2017年1月25日「東日本大学間連携組織『FDネットワーク“つばさ”概略」

2017年2月9日「三つのポリシーの策定・公表の義務化 研修会報告」 学長戦略室と共催

2017年2月22日「志願者確保のための心理行動科学科の取り組み」 学長戦略室と共催

2017年3月11日「現代ビジネス学科での1年～「現代ビジネス基礎Ⅰ」を通して～」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

個別授業評価アンケートを実施し、各教員がその結果をそれぞれの授業改善に役立っている。また学生の学修についてもアンケート調査を行い、学内で共有している。

学内研修会の開催により、情報を共有し、共通の意識をもって組織的に改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期と後期それぞれで専任教員の講義形式の授業を対象に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 各教員へ報告書を配布

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部教育学科は、「社会的要請に応え、専門の学芸を教授研究し、幅広い教養をそなえた社会人を養成する」という本学の倫理憲章のもと、地域における人材需要と社会的要請を背景に設置された。学校教育や児童福祉の現場における諸課題に対応できる高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた人材の育成を掲げ、「教育学・保育学の学問体系の理解のもとに、学校教育や児童福祉、相談援助、発達支援等に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を基盤として、それを現場で活用することができる総合的な実践能力を備えるとともに、生涯にわたり資質能力の向上を図るために必要な基盤となる基礎的な研究能力を有して、教育福祉実践活動の推進と向上に貢献する人材を養成する」ことを目的としている。教育分野や福祉分野における幅広い人材養成を目指して、職業的専門性に基づき養成する人材像に応じて、幼児教育専攻・児童教育専攻・健康教育専攻の3つの専攻を設けることで、人材像の明確化を図り、体系的な教育課程の履修が可能となるようにし、設置の趣旨・目的が達成できるように努めている。

幼児教育専攻では、子供の知・徳・体にわたるバランスの取れた成長と援助のできる人材の育成を目的に幼稚園教諭免許状並びに保育士資格の取得を目指すとともに、福祉教育的援助及び心理教育的援助に関する基礎的な知識と能力を有した人材を養成している。

児童教育専攻では、幼児期から児童期の学校教育における教科指導や生徒指導、発達支援等に関する基礎的・基本的な資質能力を持った人材の育成を目的に小学校教諭免許状の取得を目指し、小1プロブレムや特別な支援の必要性にも対応できるように、幼稚園教諭・特別支援学校教諭の免許取得の課程を設けることとしている。

健康教育専攻では、心と体を一体としてとらえ、生徒の心身ともに健全な発達を目指して、健康・安全や運動についての総合的な理解のもと、学校教育における教科や生活の指導を通じての心身の調和的発達や健康の保持増進に関する知識と能力を有した人材を養成することを目的に、養護教諭並びに保健体育科の中学校・高等学校教諭の免許取得の課程を設けている。

教育学部教育学科の今年度（第2期生）の入学者は、189名で、定員170名に対し、充足率は111%であった。入学者全員がそれぞれの専攻に関わる免許状の取得を希望していることから、教育学部教育学科の設置の趣旨・目的にかなう学生を受け入れることができたと考えている。次年度以降も、学科の趣旨・目的並びに取り組みについて高校生に広報し、入学定員の確保を目指していきたい。

学生支援においては、入学者に対して、進学の方法や学習の興味・関心、免許資格の取得希望並びに進路希望に応じた学修計画作成を指導・援助するとともに、在学生に対しても、1年次を終えた段階での成績や学習状況、専攻対象への興味・関心、免許資格の取得希望や進路希望を踏まえた学修計画やキャリアプランの見直しに組織的に対応している。

授業については、今年度においても、履修希望者が想定を超えたものについては、開講数を増やし、受講学生数の適正化と教育効果の向上を図っている。また、「実践力」育成のために設けている各種の現場実習やフィールドワークを円滑に行うため業務を担う「実習指導室」（専従職員3名）を今年度より設置し、教育効果を高めるための体制を整えた。

学部学科の運営においては、これまでどおり、学部・学科会議と専攻会議によって協議され進められるとともに、学部長・学科長・専攻主任からなる学科運営会議によって専攻間の調整を図り、3専攻が連携して、学科としての統一を保ちながら、学部学科設置の趣旨・目的の達成に当たる体制を確保している。

以上のように、教育学部教育学科の設置の趣旨・目的を実現するための作業は滞りなく進んでおり、今後も学年進行に従って設置計画を確実に履行していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成31年8月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学基準協会会員大学及び私立大学連盟加盟大学などに各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年8月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成29年 4月 25日)